

# 令和2年 新年のご挨拶

## 開かれた議会を目指して

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、令和になって初めての希望に輝く新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年の当市議会では、市議を目指しやすい環境整備のための取組を積極的に進めてまいりました。

具体的には、女性が政治に関わる意欲の向上や周囲の人も含めた意識改革を図るため、女性フォーラムを開催したほか、市民の関心を高め開かれた議会となることを目指して、議会運営などに関するご意見をお聴きする議会モニター会議の開催や、小中学生などを対象に、子どもたちが成人したときにも、政治に理解と興味を抱き続けてもらうための取組として、先回は、議場に中学生を招き模擬議会を開催いたしました。

また、議員定数及び報酬等の在り方検討委員会では、市民の皆様や有識者の皆様との意見交換会を開催するなど、議員報酬の適正化や議員定数の検討、政務活動費の見直しの3点について、検討を行いました。

本年は、議員改選の年になります。これまでの取組の成果が表れ、多くの方が議員を目指されることに期待を寄せるとともに、改選後は、市民の皆様の多様な意見をこれまで以上に市政に反映させることができますよう、より身近な市議会の構築に邁進してまいります。

この一年が、市民の皆様にとりまして、健やかで幸せに満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



上越市議会議長  
武藤 正信

## 「交流」～新しい時代に向けて～

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、時代が「平成」から「令和」へと移り変わる中、12月には上越地域待望の謙信公武道館が開館し、また、上信越自動車道の全線四車線化が完了するなど、活況を呈す「高田公園オーレンブラザ」「うみがたり」に加え、当市の「交流」の機会は大きく広がりました。

本年は、7月に東京2020オリンピックが、8月にはパラリンピックが開催されます。謙信公武道館では市がホストタウンとなっているドイツのパラリンピック柔道チームが、今月26日にオープン予定の上越体操場「ジムリーナ」ではオリンピック体操チームが事前合宿を行うこととなり、また、文化の面では今秋「小林古径記念美術館」が開館するなど、さらに「交流」の機会が広がります。

私たちの先人は、これまで様々な「交流」を通じて多くのものを外から受け入れ、このまちの歴史を紡ぎ、現在の発展を築いてきました。

市民の皆様には、どうか本年、市の内外で「交流」の輪を広げ、お一人お一人が持つ知恵と力、思いを重ね合わせ、共に豊かさを実感し、暮らすことのできる「すこやかなまち」づくりを加速させていただきたいと願っています。

この年が、市民の皆様にとりまして、健やかで幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



上越市長  
村山 秀幸

撮影場所：牧区「大月の棚田」